

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCM207A	TCM_コミュニケーション I_A	
科目名（コード）	TCM207	TCM_コミュニケーション I_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CM2	単位数	2単位30
授業担当者	浅沼 渉	時間数	
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	JLPT N1レベルの語彙・文法・読解・聴解の問題を解く。医療だけでなく、様々な日本語に触れることで広い日本語力を身につけ専門知識を学ぶ上での基礎力を築く。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	短文問題を確実にとれるようにする	必修パターン読解 実践練習 Unit1 20日で合格N1
2	短文問題を確実にとれるようにする	必修パターン読解 実践練習 Unit1 20日で合格N1
3		演習問題
4	中文問題の正答率をあげる	必修パターン読解 実践練習 Unit2 20日で合格N1
5	中文問題の正答率をあげる	必修パターン読解 実践練習 Unit2 20日で合格N1
6	2者の主張の違いに着目して内容を理解する	必修パターン読解 実践練習 Unit4 20日で合格N1
7	2者の主張の違いに着目して内容を理解する	必修パターン読解 実践練習 Unit4 20日で合格N1
8		JLPT模試演習
9		JLPT模試演習
10		JLPT模試演習
11		JLPT模試演習
12	長文問題の内容を素早く把握し、設問の意図を理解する	必修パターン読解 実践練習 Unit3 20日で合格N1
13	長文問題の内容を素早く把握し、設問の意図を理解する	必修パターン読解 実践練習 Unit3 20日で合格N1
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN1 読解・聴解 20日で合格N1
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	進度は変更になることがあります。 月曜日3限